

調和ある進化を求めて

SHK ライン



SHK 会社案内
ライン

受付
20.2.27
キリアセター

H

「航 跡」いつの時代においても確かな足跡。これが私たちSHKグループの証しです。



SHKライン
グループ代表 入谷 泰生

はじめに

内航海運から出発した私たちは、昭和43年8月、神戸—小倉間(452km)に「長距離フェリー航路」を切り拓きました。以来、四半期の歳月をかけて主力事業＝長距離フェリーの継続的な改良を重ねながら周辺事業の強化を図ってまいりました。これが今日のSHKラインを形成する“海の企業集団”です。

阪九フェリー、新日本海フェリー、関釜フェリー、蘇州下関フェリー、関光汽船、それに日本クルーズ客船は、それぞれの領域で独自の事業活動を展開しながら、グループの連携によるトータルな付加価値の創出をめざし、総合物流からクルージングリゾートまで、今日の多様なニーズにお応えしてまいります。

これからも業界の課題をひとつひとつ誠実に解決して、より良いサービスの充実を図りご提供してまいりますので、今後共ご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

SHK

C O N T E N T S

関 光 汽 船 … 3 阪 九 フェリー … 5 新日本海フェリー … 7 関 釜 フェリー … 9
日 本 クルーズ客船 … 11 蘇州下関フェリー … 13 西 日 本 汽 船 … 13



●品質マネジメントシステムの国際規格「ISO 9001」を2012年に取得。お客様満足度向上に向けた事業活動を展開しています。
●国際物流における貨物のセキュリティ管理と法令遵守の体制が整備された通関業者として、2013年税関長より「AEO通関業者認定」を受けました。

海と陸のトランスポーター

関光汽船(株)は昭和23年、関門地区を基盤に内航海運からスタートし、以来、時代のニーズに応えるべく新物流サービスの開発に力を注いでまいりました。

とりわけ長距離フェリー航路では先駆的な役割を担い、国内貨物の海陸一貫協同輸送や日韓・日中航路の複合輸送を押し進め、今日、トレーラー輸送、コンテナ輸送のエキスパートとして活躍しています。その豊かなノウハウを生かし、高度な輸送サービスを今後も提供してまいります。



年	沿革
28年12月	青島関光国際物流有限公司の分公司を上海に設置
26年8月	上海下関フェリー社名を蘇州下関フェリー株式会社に変更
26年3月	J・A・C・E・P承認(コンテナ保守点検方法及び保守点検計画等の承認)
25年7月	AEO通関業者認定
24年12月	ISO 9001 認証取得
22年3月	青島関光国際物流有限公司の分公司を蘇州に設置
22年1月	関光ロジスティクス韓国株式会社設立
21年4月	鉄道第二種貨物利用運送事業免許取得
20年12月	エコシッピングマーク認定取得
19年9月	青島関光国際物流有限公司設立
18年9月	上海下関フェリー
17年6月	下関-上海間貨物定期運航開始
16年7月	下関-蘇州太倉間に移転運航
15年4月	海運第一種貨物利用運送事業(内航・外航)免許取得
13年8月	一般港湾運送事業免許取得
10年1月	下関-青島間定期運航開始
9年9月	オリエントフェリー株式会社設立
2年10月	下関-中国・青島間コンテナ輸送開始
元年4月	日本クルーズ客船株式会社設立
平成	
58年5月	関釜フェリー毎日運航開始
55年5月	西日本商船株式会社(現・西日本汽船)設立
52年3月	本社を大阪市より下関市に移転
48年12月	東九フェリー就航により、関門-東京間にトレーラー輸送開始
47年6月	資本金2億5,000万円に増資
46年12月	東九フェリー株式会社設立(他社との合併の後現・オシヤン東九フェリー)
45年8月	北九州市小倉区(現小倉北区)に第2倉庫建設、新日本海フェリー就航により、阪神-北海道間にトレーラー輸送開始
45年6月	関釜フェリー就航により、下関-釜山間コンテナ輸送開始
45年2月	倉庫業免許取得
44年11月	資本金1億5,000万円に増資
44年6月	新日本海フェリー株式会社、関釜フェリー株式会社設立
43年8月	阪九フェリー就航により、関門-阪神間にトラックトレーラー輸送を開始
43年4月	資本金1億円に増資
41年9月	関光汽船株式会社と社名変更
41年4月	阪九フェリー株式会社設立
40年5月	一般区域貨物自動車運送事業免許取得
39年11月	長距離フェリー開発研究部設置
32年8月	資本金1,050万円に増資
23年9月	下関機帆船輸送組合を組織変更して、関光海運株式会社と改称、資本金200万円にて発足



概要
商号 関光汽船株式会社
 本社所在地 〒750-0025 下関市竹崎町4丁目6番8号
 TEL (083) 231-7382 (代) FAX (083) 234-5331
 URL <http://www.kankokisen.co.jp/>
設立 昭和23年9月1日
資本金 2億5,000万円(払込済資本金)
事業内容 1.海陸運送及び運送取扱業
 2.一般旅客の海上運送並びに運送取扱業
 3.港湾運送事業
 4.倉庫業
 5.通関業
 6.旅行幹旋業
 7.海運代理店業
 8.不動産の賃貸業
 9.輸送運搬機械のリース業
 10.損害保険代理業
 11.自動車損害賠償保険代理業
 12.ホテル・飲食事業
 13.人材派遣業
 14.コンピュータソフトウェアの研究開発及び販売業
 15.食料品、日用品雑貨、機械・機器、工具、石油・化学製品等の輸出入及び販売業
 16.その他、前各号に付随する一切の業務

役員
 取締役 会長 入谷泰一 生成清孝
 代表取締役社長 入谷泰一 志代洋朗
 取締役 相談役 山本良一
 専務取締役 山本良一 剛謙
 取締役 (国際部長) 谷本剛
 取締役 (国内営業本部長) 玉里員田
 取締役 (国際営業本部長) 村田谷川
 取締役 (管理本部長) 入田忠
 監査役 (常勤) 西川
 監査役 (非常勤) 小笠原

従業員 200名
支店
 東京支店 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町4番1号 伊場ビル6階
 TEL (03) 6661-7101 FAX (03) 6661-7761
 大阪支店 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目1番3-2300号 大阪駅前第3ビル23階1号
 TEL (06) 6343-1921 FAX (06) 6344-2809
 北九州支店 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町86番地の11
 TEL (093) 561-3285 FAX (093) 592-0229
 札幌支店 〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目1 八クオビル8階
 TEL (011) 271-0707 FAX (011) 271-0732
 新潟支店 〒950-0044 新潟市東区古湊町2番66号
 TEL (025) 271-7633 FAX (025) 271-0080

営業所
 荒田営業所 下関市彦島迫町1丁目20番10号
 帯広連絡所 帯広市大通南16丁目19番地1 帯広16丁目ビル202号

海外現地法人
青島関光国際物流有限公司
 P.C266071 中国山東省青島市香港中路36号 新世界数碼港招銀大廈1209室
 TEL+86-532-85732033 FAX+86-532-85733389
蘇州分公司
 P.C215000 中国江蘇省蘇州市工業園區蘇州大道西119号 蘇悅商貿廣場11F 1108-2号室
 TEL+86-512-62963635 FAX+86-512-62963646
上海分公司
 P.C200001 中国上海市延安東路550号 海洋大廈1815室
 TEL+86-21-63517001 FAX+86-21-63517002
関光ロジスティクス韓国株式会社
 P.C110999 ソウル特別市鍾路区セムナン路92 (新門路1街光化門OFFICIA1124-1126号)
 TEL+82-2-3276-3207 FAX+82-2-3276-3208

取引銀行
 商工中金・日本政策投資銀行・みずほ銀行・三井住友銀行・三菱UFJ銀行・十八銀行・山口銀行・西京銀行・西日本シティ銀行・西中国信用金庫
 特約保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

免許
 海運第二種貨物利用運送事業(内航~九運事貨第310号、外航~国総貨復第6号の3-7)・鉄道第二種貨物利用運送事業(国政参復第287号)・倉庫業(港倉-27号)・通関業(第59号)・一般港湾運送事業(九運航第529号(門司港1種条件第11001号))



いずみ

安全と信頼、長距離フェリーの先駆者です。

わが国初の長距離フェリーを就航させた伝統あるフェリー船社です。

昭和43年、神戸/小倉間に大型フェリーが就航したことに始まる長距離フェリーは、今日では環境負荷の少ない輸送手段として物流産業に貢献しています。阪九フェリーは安全性・快適性を追求し、ユーザーサイドに立ったサービスを提供することにより、広く利用層から信頼され、北九州航路のシェアの多くを占めています。



新門司ターミナル



神戸ターミナル



泉大津ターミナル

平成	昭和	令和
27年7月	54年3月	27年3月
31年1月	53年9月	
31年3月	53年3月	
32年2月	53年1月	
33年10月	52年12月	
33年3月	51年5月	
33年3月	51年1月	
33年10月	50年7月	
33年10月	50年1月	
33年10月	50年4月	
33年10月	50年1月	
33年10月	47年11月	
33年10月	47年9月	
33年10月	45年11月	
33年10月	45年9月	
33年10月	44年2月	
33年10月	43年11月	
33年10月	43年8月	
33年10月	42年12月	
33年10月	42年4月	
33年10月	41年4月	
33年10月		

沿革

- 昭 和 41年4月 会社設立、資本金2億円
- 42年4月 一般旅客定期航路事業免許下附
- 42年12月 資本金3億円に増資
- 43年8月 「フェリー阪九」神戶魚崎港初就航
- 43年11月 「第六阪九」就航、1日1便体制
- 44年2月 資本金4億円に増資
- 45年4月 資本金6億円に増資
- 45年9月 「フェリーせと」就航、隔日2便体制
- 47年11月 「フェリーはりま」就航、1日2便体制
- 47年9月 「フェリーながと」就航、隔日3便体制
- 50年1月 「フェリーあかし」就航、1日3便体制
- 50年4月 阪九フェリーによる、西日本フェリーの買収契約成立
- 50年7月 旧西日本フェリー(神戶)と(深江)航路営業開始
- 50年12月 北九州(神戸)間、1日4便体制
- 51年1月 資本金12億円に増資
- 51年5月 「第二十四阪九」(神戸)と(魚崎)間に就航
- 51年7月 「第三十二阪九」(神戸)と(小倉)間に就航
- 52年12月 小倉(深江)航路を神戸(魚崎)に変更
- 53年1月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 53年3月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 54年3月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 55年2月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 58年10月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 59年1月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 63年3月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 63年6月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 63年3月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 63年3月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 63年6月 小倉(魚崎)航路1日3便体制
- 63年6月 小倉(魚崎)航路1日3便体制



ひびき

泉大津⇄新門司 458km

いずみ・ひびき

総トン数	15,897トン
旅客	643名
乗用車	188台
トラック	277台
航海速度	23.5ノット



やまと

六甲アイランド⇄新門司 454km

やまと・つくし

総トン数	13,353トン
旅客	667名
乗用車	138台
トラック	229台
航海速度	23.5ノット



つくし

せつ (2020年3月就航予定)

総トン数	約16,300トン
旅客	663名
乗用車	188台
トラック	277台
航海速度	23.5ノット

概要

商号 阪九フェリー株式会社
〒800-0113 北九州市門司区新門司北1丁目1番
TEL (093) 481-6081 (代) FAX (093) 483-1200

設立 昭和41年4月28日

資本金 12億円(払込済資本金)

事業内容 1.一般自動車の海上輸送
2.旅客の海陸輸送
3.船舶貸渡業
4.海上運送並び取扱事業
5.貨物利用運送事業
6.産業廃棄物の収集運搬業
7.不動産賃貸業
8.運搬輸送機械リース業
9.損害保険代理業
10.観光事業
11.その他前各号に付随する一切の業務

役員

代表取締役会長	入谷 泰生
代表取締役社長	小笠原 朗
常務取締役(関西統括)	河越 順太郎
取締役(特命担当兼安全統括管理者)	元重 雅博
取締役(海務部長)	山口 澤弘
取締役(総務部長)	白澤 伸二
監査役(常勤)	澤地 一清
監査役	山本 良孝
監査役	谷崎 良孝

従業員
陸上従業員113名 海上従業員118名 合計231名

支店

神戸支店
〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東3丁目2番地の1
TEL (078) 857-1212 (代) FAX (078) 845-2978

泉大津支店
〒595-0074 大阪府泉大津市小津島町1番3
TEL (0725) 22-7172 (代) FAX (0725) 20-2055

新門司支店
〒800-0113 北九州市門司区新門司北1丁目1番
TEL (093) 481-6582 (代) FAX (093) 481-6477

営業所

福岡営業所
〒812-0013 福岡市博多区博多駅前1丁目12-17
オフィスニューガイア博多駅前6階A-1
TEL (092) 443-0092

名古屋営業所
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
名古屋ダイヤビルディング1階
TEL (052) 565-0261 (代) FAX (052) 566-1665

東京営業所
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2-3
日比谷国際ビル3階
TEL (03) 6858-5509 (代) FAX (03) 5532-1104

取引銀行
日本政策投資銀行・みずほ銀行・三菱UFJ銀行・三井住友銀行・山口銀行・十八銀行・商工中金

関係団体
日本旅客船協会・日本長距離フェリー協会

関釜フェリー



感動半島・韓国へドラマチックな旅はフェリー「はまゆう」から始まります。

はまゆう
 総トン数：16,187トン
 旅客：460名
 乗用車：11台
 トラック：76台
 航海速力：20ノット
 航行区間：下関⇄釜山 220km

下関と韓国・釜山を結ぶ国際レインボーラインの「はまゆう」で、極上の旅のロマンを心ゆくまでご満喫ください。また、SHKグループのスムーズな連絡により、中部・阪神・京阪圏との商交流も活発におこなわれ、隣国、韓国と日本の友情のかけ橋として役立っています。



下関港国際ターミナル



昭和	沿革
44年6月	下関市山口銀行本店で創立総会開催 資本金1億800万円
44年6月	創立登記
44年8月	韓国側の釜関フェリー(株)設立
45年6月	日本側の第1船「フェリー関釜」就航
45年11月	午前10時発を午後5時発の 夜間航海に切替
46年2月	国鉄コンテナ輸送開始
46年8月	韓国内陸への輸送拡大
48年8月	ジュネーブ協定による「国際道路交通条約」に韓国加盟、臨時措置である仮免許証は国際ライセンスに切替え
49年4月	夏期便増便を実施
49年10月	自動車の韓国乗入れ禁止
51年7月	第2船「フェリー関釜」に代替
55年6月	就航10周年目 10年間の輸送実績 旅客 496,803人 乗用車 32,596台 コンテナ 100,707基
56年3月	韓国関税庁告示により自家兼用車の済州道(島)限定乗入れ及び指定物資積出しの冷凍車など特殊車の乗入れ許可を発表
56年4月	済州島迄の乗用車の限定乗入れ再開
56年8月	乗用車、韓国全土に乗入れ解禁
58年4月	韓国側の「フェリー関釜」就航
58年5月	「フェリー関釜」就航により毎日運航開始
59年9月	第3船日本船「フェリー関釜」(総トン数6,590トン)に代替
63年5月	下関国際ターミナル完成
63年6月	本社新社屋完成、事務所移転
63年6月	下関港国際ターミナル供用開始
63年8月	完全毎日運航開始
平成 元年1月	韓国の海外旅行自由化実施
10年8月	新造船「はまゆう」就航
13年8月	下関港午後6時発を午後7時に切替
14年5月	韓国側の新造船「星希」就航
26年3月	下関港午後7時発を午後7時45分に切替
27年7月	新釜山ターミナル運営開始

概要

関釜フェリー株式会社
 本社所在地 〒750-0066 下関市東大和町1丁目10番60号
 TEL (083) 224-3000 (代) FAX (083) 224-3006
 設立 昭和44年6月23日
 資本金 2億1,600万円 (払込済資本金)
 事業内容
 1. 一般自動車の海上輸送
 2. 旅客の海上輸送
 3. 海陸運送業並びに運送取扱業
 4. 税関貨物取扱業
 5. 損害保険代理業
 6. 自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業
 7. 外国為替両替業
 8. 郵便切手並びに収入印紙販売業
 9. 医薬品販売業
 10. 酒類並びに煙草販売業
 11. 土産品の販売業
 12. 観光事業
 13. 釜関フェリー株式会社との相互出資
 14. 前各号に付随または関連する事業

役員

代表取締役会長 (CEO)	入谷泰生
代表取締役社長 (COO)	入谷一成
専務取締役 (総務部・海務部・事業部管掌)	谷崎良孝
専務取締役 (営業部管掌)	増田英俊
取締役 営業部長	上野浩二
取締役	竹野浩幸
取締役	中野一清
監査役	山本原
監査役	小笠原

従業員

陸上従業員31名 海上従業員40名 合計71名

海外事務所

ソウル駐在員事務所 韓国ソウル特別市鍾路区セムナン路92
 (新門路1街光化門OFFICIAL1123号)
 TEL82-2-730-2137

関係会社

釜関フェリー株式会社
 所在地 大韓民国釜山広域市東区中社大路206
 TEL 釜山 82-51-463-3165

取引銀行

日本政策投資銀行・みずほ銀行・山口銀行・商工中金・十八銀行・西中国信用金庫

関係団体

日本旅客船協会・日本外航客船協会

日本クルーズ客船



クルーズという旅のステージ ぱしふいっく びいなすの旅

“ふれんどシップ”という旅のスタイルをお届けするのが、日本クルーズ客船のホスピタリティです。お手軽なワンナイトクルーズをはじめ、クルーズの楽しさを凝縮した週末クルーズ、そして海外・世界一周などの本格クルーズまで、個性あふれるおもてなしを用意し皆さまを「至福の時間と空間」へご案内いたします。「ぱしふいっく びいなす」で、ありのままの自然を発見してください。



仏領ポリネシアボラボラ島付近を航行する「ぱしふいっく びいなす」

ぱしふいっく びいなす

航行区域：国際海洋
全長：183.4m
総トン数：26,594トン
乗客数：620名
最大速度：21.6ノット

平成	27年	22年	21年	20年	19年	16年	15年	14年	13年	13年	10年	10年	9年	7年	2年	元年	元年	元年
4月	1月	4月	4月	4月	4月	4月	3月	4月	10月	6月	11月	4月	7月	12月	7月	11月	4月	4月
創立総会開催	第8回97日間の世界一周クルーズに出航	「ぱしふいっく びいなす」第7回104日間の世界一周クルーズに出航	「ぱしふいっく びいなす」第6回102日間の世界一周クルーズに出航	「ぱしふいっく びいなす」第5回103日間の世界一周クルーズに出航	「ぱしふいっく びいなす」第4回105日間の世界一周クルーズに出航	「ぱしふいっく びいなす」第3回100日間の世界一周クルーズに出航	「ぱしふいっく びいなす」第2回100日間の世界一周クルーズに出航	「ぱしふいっく びいなす」第1回104日間の世界一周クルーズに出航	「ぱしふいっく びいなす」初104日間の世界一周クルーズに出航	資本金4億円に増資	資本金3億円に増資	「ぱしふいっく びいなす」就航	「ぱしふいっく びいなす」就航	「ぱしふいっく びいなす」就航	「ぱしふいっく びいなす」就航	「ぱしふいっく びいなす」就航	「ぱしふいっく びいなす」就航	「ぱしふいっく びいなす」就航

沿革

Refresh



Activity



Entertainment



「ぱしふいっく びいなす」主な海外レジャークルーズ実績

年次	出航日	クルーズ名
2012	1.11	2012西オーストラリア・アジア楽園クルーズ
	5.13	韓国麗水世界博覧会・済州島・釜山クルーズ
	6.16	初夏の利尻島・網走サハリンクルーズ
	7.25	夏のロシア・ウラジオストククルーズ
	9.28	秋の韓国・東草釜山クルーズ
	10.26	秋の韓国・釜山クルーズ
	10.30	皆既日食NZクルーズ
	12.26	ニューイヤークルーズ(高雄・基隆)
2013	1.16	PV就航15周年記念アジア・インド洋クルーズ
	3.21	「春爛漫」済州島・釜山と瀬戸内海クルーズ
	4.21	春の台湾と石垣島・西表島・波照間島クルーズ
	5.20	済州島クルーズ
	6.18	初夏のロシア・サハリンクルーズ
	7.14	初夏の韓国麗水・釜山と瀬戸内海クルーズ
	8.27	夏休み韓国・釜山と瀬戸内海クルーズ
	10.25	釜山世界花火と瀬戸内海クルーズ
12.25	びいなすニューイヤークルーズ～台湾・沖縄～	
2014	1.12	憧れのタヒチ・ハワイ・ブルーラグーン
	4.20	春の台湾と石垣島・西表島・鳩間島・宮古島クルーズ
	5.21	びいなすキラ☆キラクルーズ
	7.3	千島列島と神秘のフィヨルド・ロシア探究の旅
	9.1	韓国・釜山とウラジオストククルーズ
	9.29	韓国・釜山と瀬戸内海クルーズ
	10.23	釜山世界花火と唐津・瀬戸内海クルーズ
	12.26	びいなすニューイヤークルーズ～台湾・石垣島・日南～
2015	1.7	2015世界一周クルーズ(南廻りコース)
	5.6	春の日本一周・釜山クルーズ
	6.20	千島列島と神秘のフィヨルド・ロシア探究の旅
	9.4	ロシア・ウラジオストククルーズ
	10.30	2015アジアクルーズ
2016	1.6	2016オーストラリア・ニュージーランドクルーズ
	3.3	皆既日食・グアム・小笠原クルーズ
	5.10	びいなす音楽会クルーズ
	10.7	ウラジオストク バレエクルーズ
	11.1	台湾・フィリピンアイランドクルーズ
12.26	びいなすニューイヤークルーズ～台湾・九州～	
2017	1.11	憧れのタヒチ・ハワイ・ブルーラグーン
	4.6	びいなす音楽会クルーズ～釜山～
	9.7	ロシア・ウラジオストクバレエクルーズ
	11.1	韓国麗水クルーズ
	12.26	びいなすニューイヤークルーズ～台湾・南西諸島～
2018	1.10	悠久のオリエンタルクルーズ
	9.1	大自然カムチャッカクルーズ
	10.26	釜山花火大会と瀬戸内海クルーズ
	12.27	びいなすニューイヤークルーズ(台湾・基隆)
2019	1.16	2019年輝けるアジアクルーズ

概要

商号 日本クルーズ客船株式会社
本社所在地 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号 梅田阪神第1ビルディング15階
TEL(06)6347-7521(代) FAX(06)6341-8980
設立 平成元年4月26日
資本金 4億円
事業内容 1.旅客の海上輸送
2.マリーナ、マリンスポーツ施設、宿泊施設の運営
3.飲食店の経営
4.医薬品、酒類、煙草の販売業
5.船舶内における遊戯具賃貸、理髪店、クリーニング店、売店の経営
6.披露宴、パーティー、会議、催事の設営及び配膳の請負
7.一般旅行業
8.損害保険代理業
9.その他前各号に付随する一切の事業

役員

代表取締役社長	入谷泰生
代表取締役専務取締役	米田憲二
取締役 営業本部長	東山 満
取締役 海務部長	坂田 一則
取締役 東京支店長	岸本 正則
取締役	小笠原 朗
監査役(常勤)	堀内 一彦
監査役	入谷 一

従業員

陸上従業員59名 海上従業員83名 合計142名

営業所

東京支店 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2-3 日比谷国際ビル3階
TEL(03)5532-2211(代) FAX(03)5532-2212

取引銀行

みずほ銀行・三菱UFJ銀行

関係団体

日本外航客船協会・日本旅行業協会



日中の架け橋 下関～蘇州太倉航路はさらに充実したサービスを提供してまいります。

蘇州下関フェリーは、下関～蘇州(太倉)間をRO/ROフェリーによる貨物輸送を行っております。

SHKラインによる日中フェリー航路運営は、古くは昭和55年に「日中友好の船(下関～青島)」に始まり、その後地道な運送活動を通じて定期航路への道のりを歩み、今日の下関～蘇州(太倉)「国際航路」を形成するに至りました。

「蘇州太倉港」は近年発展が著しい長江デルタ経済圏の中心に位置し、上海中心部からも50Kmと利便性も高く、名実とともに日中間物流の戦略的ゲートウェイとしてさらなる拡大発展が期待されています。

UTOPIA
航行区域：国際遠洋
全長：144.9m
総トン数：16,408トン
積載能力：コンテナ 150TEU
航海速度：20.0ノット
航海区間：下関⇄太倉 1,074km



下関港



蘇州太倉港

概要

商号 蘇州下関フェリー株式会社
SUZHOU SHIMONOSEKI FERRY CO., LTD.
〒750-0066 下関市東大和町1丁目10番64号
TEL (083) 232-9677 FAX (083) 232-6616
URL <http://www.ssferry.co.jp>

設立 2007年10月15日
資本金 6,000万円(払込済資本金)
事業内容
1.海上運送事業及びその代理業
2.貨物運送取扱事業
3.港湾運送事業及び倉庫事業
4.飲食店の経営
5.酒類・たばこ・医薬品・医薬部外品・衣料品・食品・日用雑貨の販売業
6.前各号に付帯する一切の業務

役員

代表取締役社長	増田 聡
取締役	入谷 泰生
取締役	山本 一清
取締役	入谷 一成
監査役	河本 俊之

海外事務所

太倉事務所 江蘇省太倉市口経済開発区
北環路8号聯檢服務大樓1204号室
TEL86-512-53186686 FAX86-512-53186602
江蘇営業センター 無錫市新区龍山路2-18号
融智大廈E棟1202室
TEL0510-8181-6897 FAX0510-8181-6840

概要

商号 西日本汽船株式会社
〒750-0066 下関市東大和町1丁目10番64号
TEL (083) 232-8045 FAX (083) 232-6616
資本金 4億7,500万円(払込済資本金)
事業内容 船舶代理店業

役員

代表取締役社長	増田 聡
専務取締役	入谷 泰生
取締役	山本 一清
取締役	入谷 一成
監査役	良 孝生
	田 清成
	谷 理子
	入 植
	山 田
	入 植

年	月	沿革	
31年	2月	下関、蘇州太倉間に代替新造船「UTOPIA」投入	
27年	12月	運航休止	
26年	8月	上海下関フェリー(株)を蘇州下関フェリー(株)に社名変更	
21年	10月	下関、蘇州太倉間(上海下関フェリー(株)にRO/RO貨物船「ゆうとびあ4」を投入、週2便に増便	
19年	8月	下関、蘇州太倉間、旅客輸送開始	
18年	9月	中国側寄港地を上海・高陽港から江蘇省太倉港に変更	
17年	6月	下関、上海間に「UTOPIA2」を投入、週1便貨物輸送サービス開始	
17年	6月	下関、青島間に「ゆうとびあ」の姉妹船「ゆうとびあ2」を投入、同航路は週3便となる	
16年	7月	上海下関フェリー(株)設立	
14年	10月	下関、青島間に2万7000トン型フェリー「ゆうとびあ」投入	
10年	1月	オリエンツフェリー(株)、下関、中国・青島間に「ゆうとびあ3」を投入し定期フェリー運航を開始	
9年	9月	合併会社オリエンツフェリー(株)設立。西日本汽船(株)から運航業務を引き継ぐ西日本汽船(株)は、運航会社の総代理店の業務を行う	
9年	6月	日本側、西日本汽船(株)、関光汽船(株)、新日本海フェリー(株)、と中国側、三東経貿国際運輸公司、山東省国際海運公司、山東省対外経済貿易陸海公司の間に、共同投資による合併会社を設立することの合併契約書を締結	
8年	11月	下関、青島間定期フェリー航路開設に向けて、日中合併会社設立の意向書締結	
7年	7月	「ゆうとびあ3」を代替投入、月2便運航となる	
6年	4月	「ユーとびあ」代替投入	
2年	10月	下関、青島航路・コンテナ輸送開始	
平成	59年	西日本汽船(株)に社名変更	
昭和	55年	5月	西日本商船(株)設立
昭和	55年	10月	下関市・青島市友好都市提携1周年を記念して「日中友好の船(ゆうとびあ)」が青島・天津を訪問

[SHKラインをサポートする関連企業]

ホテル・旅行事業

- 下関グランドホテル株式会社** ホテル
本社 ホテル
〒750-0006 下関市南部町31番2号
TEL083-231-5000 FAX083-235-0039
- オーセントホテルズ株式会社** ホテル
オーセントホテル小樽
〒047-0032 北海道小樽市稲穂2丁目15番1号
TEL0134-27-8100 FAX0134-27-8118
- 株式会社ヴィーナストラベル** 一般旅行
本社 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号
TEL06-6345-2968 FAX06-6347-0638
大阪営業所 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目11-4B-100大阪駅前第四ビルB1
TEL06-6348-0571 FAX06-6348-0573
札幌営業所 〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目1番地
TEL011-241-6600 FAX011-232-7740
下関支店(下関国際フェリーセンター)
〒750-0066 下関市東和町1丁目10番60号
TEL083-228-0777 FAX083-224-3006
北九州営業所 〒800-0113 北九州門司区北1丁目1番九フェリー(株)内
TEL093-481-7005 FAX093-288-6161
- 株式会社エス、エッチ、ケイ総合案内所** 旅行案内
名古屋営業所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号 名古屋ダイヤビルディング1階
TEL052-566-1661 FAX052-566-1665



石油販売・不動産・商事部門事業

- 協伸産業株式会社** ガソリンスタンド・船舶燃料・保険代理店
本社 〒750-0025 下関市竹崎町4丁目6番8号 関光ビル7階
TEL083-232-5501 FAX083-223-5502
幡生給油所 〒751-0828 下関市幡生町1丁目6番10号
TEL083-252-4031 FAX083-252-4049
関釜フェリー 〒750-0066 下関市東和町1丁目10番26号
給油所 TEL083-266-9955 FAX083-266-9581
- 新協和商事株式会社** 船舶燃料・商事
本社 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号 梅田阪神第1ビル15階
TEL06-6341-1321 FAX06-6347-0638
小樽営業所 〒047-0008 小樽市築港8番2号
TEL0134-34-2301 FAX0134-22-6197
苫小牧営業所 〒059-1742 北海道勇払郡厚真町字浜厚真17-6 新日本海フェリー内
TEL0145-28-3550
- 協和リアルエステート株式会社** 不動産管理・保険代理店
〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号 梅田阪神第1ビル15階
TEL06-6341-1321 FAX06-6347-0638



物流事業

- マリネックス株式会社** 貨物利用運送業 (ISO-9001認証)
本社 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号 梅田阪神第1ビル15階
TEL06-6341-5701 FAX06-6347-5066
国際部 TEL06-7634-3018 FAX06-6345-3989
札幌支店 〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目1番地 ハクオビル2階
TEL011-209-0620 FAX011-232-7740
新潟支店 〒950-0044 新潟市東区古湊町2番20号 (新日本海フェリー内)
TEL025-273-8896 FAX025-272-0822
秋田支店 〒011-0945 秋田市土崎港西1丁目13番地13号
TEL018-880-2700 FAX018-880-2888
東京支店 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2-3 日比谷国際ビル3階
TEL03-5532-1108 FAX03-5532-1104



- マリネックス西日本株式会社** 貨物利用運送業
本社 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目1番3-2300 大阪駅前第3ビル23階
TEL06-6440-1806 FAX06-6345-3863
北九州営業所 〒800-0113 北九州門司区新門司北1丁目1番
TEL093-481-6087 FAX093-481-6834

- 協和ロジスティクス株式会社** 倉庫業
本社 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号 梅田阪神第1ビル15階
TEL06-6345-9021 FAX06-6347-0638
加西物流センター 〒675-2212 加西市東笠原602-1
TEL0790-48-4341 FAX0790-48-4321

- はりま物流協同組合** 倉庫業
〒675-2212 加西市東笠原602-1
TEL0790-48-4341 FAX0790-48-4321

- シートランス株式会社** 貨物自動車運送業 (ISO-9001認証)
〒950-0044 新潟市東区古湊町2-53
TEL025-271-8773 FAX025-271-8804

- ノーザンサポートサービス株式会社** 貨物自動車運送業 (ISO-9001認証)
〒061-3241 石狩市新港西2丁目787-1
TEL0133-74-8131 FAX0133-74-8180

- マリネックストランスポートサービス株式会社** 貨物自動車運送業 (ISO-9001認証)
〒625-0036 舞鶴市字浜2025番地4
TEL0773-64-6201 FAX0773-64-6220

- 産業運輸株式会社** 貨物自動車運送業
〒800-0113 北九州門司区新門司北1丁目3番地6
TEL093-481-4777 FAX093-481-4787

- 新洋運送株式会社** 貨物自動車運送業
〒047-0008 小樽市築港50-15
TEL0134-27-2251 FAX0134-27-2287

- 新洋運送有限公司** 貨物自動車運送業
〒950-0044 新潟市東区古湊町2-66
TEL025-271-0071 FAX025-271-1003

- 株式会社新洋ドレージ** 貨物自動車運送業
〒914-0016 敦賀市余座2-18-2
TEL0770-21-0031 FAX0770-21-0032

- シーウェイエクスプレス株式会社** 貨物自動車運送業
〒595-0074 泉大津市小津島町1番3 阪九フェリー泉大津ターミナル2F
TEL0725-58-6651 FAX0725-58-6652

- 青島関光国際物流有限公司**
P.C266071 中国山東省青島市香港中路36号 新世界数碼港招銀大廈1209室
TEL+86-532-85732033 FAX+86-532-85733389
蘇州分公司 P.C215000 中国江蘇省蘇州市工業園區蘇州大道西119号 蘇悅商貿廣場11F 1108-2号室
TEL+86-512-62963635 FAX+86-512-62963646
上海分公司 P.C200001 中国上海市延安東路550号 海洋大廈1815室
TEL+86-21-63517001 FAX+86-21-63517002

- 関光ロジスティクス韓国株式会社**
P.C110999 韓国ソウル特別市鍾路区セムナン路92 (新門路1街光化門OFFICIAL1124-1126号)
TEL+82-2-3276-3207 FAX+82-2-3276-3208

- 万利寧(南通)国際物流有限公司**
P.C226009 中国江蘇省南通市經濟技術開發區広賢路63号
TEL+86-513-51085321 FAX+86-513-51085323

- 株式会社 I LOVE ファームロジ** 貨物利用運送業
〒063-0861 札幌市西区八軒1条東4丁目1-69
TEL011-676-5535 FAX011-676-5536

- 北海サンユー株式会社** 貨物自動車運送業
〒004-0802 札幌市清田区宝塚2条4丁目2-27
TEL011-881-5121 FAX011-882-2271



海運周辺事業

- 新日本海サービス株式会社** 船内・ターミナル食堂売店
小樽事業所 〒047-0008 小樽市築港7番2号 新日本海フェリー(株)内
TEL0134-34-2321 FAX0134-25-5447

- 新門司フェリーサービス株式会社** 船内食堂売店
〒800-0113 北九州門司区新門司北1丁目1番
TEL093-481-6881 FAX093-481-6208

- ケイ・ファクトリー株式会社** コンテナ等修理業
〒750-0025 下関市竹崎町4丁目6番8号 関光ビル7階
TEL083-228-2008 FAX083-228-2211

- ノーザンオートサービス株式会社** 自動車修理業
〒047-0008 小樽市築港6番12号
TEL0134-24-1558 FAX0134-24-1590



SHKライン

関光汽船
阪九フェリー
新日本海フェリー
関釜フェリー
東京九州フェリー
日本クルーズ客船
西日本汽船
蘇州下関フェリー

(関連グループ企業)

協伸産業
産業運輸
新日本海サービス
新協和商事
新洋運送
新門司フェリーサービス
下関グランドホテル
ヴィーナストラベル
新洋運送(有)
シートランス
協和リアルエステート
マリネックス
ノーザントランスポートサービス
マリネックストランスポートサービス
協和ロジスティクス
エス、エッチ、ケイ総合案内所
新洋ドレージ
オーセントホテルズ
はりま物流
マリネックス西日本
青島関光国際物流(有限公司)
関光ロジスティクス韓国
ケイ・ファクトリー
万利寧(南通)国際物流(有限公司)
ノーザンオートサービス
シーウェイエクスプレス
北海サンユー
SHKライン

1968~

時代を読み、航跡が次代をリードする SHKラインのあゆみ

海運事業のはじまり

- 1948.9 下関機帆船輸送組合を組織変更して、関光海運(株)設立、貨物の集荷・取扱業を開始
- 1949.10 機帆船「第51関光丸(150トン)」を購入、内航海運事業をスタートさせる。
- 1953.4 鋼船「糖油丸(160トン)」を建造、阪神~関門間・内航定期航路開設
阪神~関門~北海道間(1957.8)、関門~阪神~東京間(1958.4)、名古屋~関門~博多間(1964.5)、阪神~京浜~広尾間(1964.6)の各航路開設
- 1964.11 長距離フェリー開発研究部を設置
- 1965.5 一般区域貨物自動車運送事業を開始
- 1966.9 関光海運(株)設立20周年を迎え、社名を「関光汽船(株)」に改称



国内初の長距離フェリー「フェリー阪九」



長距離フェリー航路の開設と10年の歩み

- 1966.4 阪九フェリー(株)設立
- 1968.8 阪九フェリー、我が国初の長距離フェリー「フェリー阪九(4,982トン)」就航
関光汽船、阪九フェリーの就航を機にトレーラー輸送を開始
- 1969.6 関釜フェリー(株)設立
新日本海フェリー(株)設立
- 1970.2 関光汽船、倉庫業開始
- 1970.6 関釜フェリー、下関~釜山間に「フェリー関釜(3,874トン)」就航
関光汽船、通関業の許可を得て下関~釜山間にコンテナ輸送開始
- 1970.8 新日本海フェリー、舞鶴・敦賀~小樽間に「すずらん丸(9,065トン)」就航
- 1970.12 関光汽船、阪神~北海道間トレーラー輸送開始
- 1972.1 六社会、グループ対外名称を「SHKライン」に決定。同10月、グループ社内報「四海」創刊
- 1974.6 新日本海フェリー、新潟寄港開始
- 1976.3 関光汽船、下関竹崎町に本社・社屋新築
- 1978.1 阪九フェリー、小倉~堺泉北航路開設
- 1978.8 「日本の長距離フェリー10年の歩み」発刊

海外へ展開

- 1980.5 西日本商船設立、同10月、日中友好の船「ゆうとびあ(9,991トン)」青島・天津を訪問
- 1982.8 西日本商船、「ニューゆうとびあ(12,028トン)」処女航海、外航クルーズを本格化
- 1984.6 西日本商船、「西日本汽船(株)」に名称変更
- 1984.7 新日本海フェリー、舞鶴~小樽間にリゾート型フェリー「フェリーらいらっく(19,329トン)」投入
- 1986.12 「長距離フェリーを創る」を発刊
- 1987.6 グループ広報事業「(株)エス・エッチ・ケイ調査広報センター」設立
- 1987.10 新日本海フェリー舞鶴支店、西港から東港前島新フェリーターミナルに移転
- 1988.3 阪九フェリー神戸本社、神戸魚崎港から六甲アイランド新ターミナルに移転
- 1988.6 関釜フェリー、下関港国際新ターミナル供用開始
- 1989.4 日本クルーズ客船(株)設立
- 1989.10 マリネックス(株)設立、利用運送事業開始
- 1990.7 日本クルーズ客船「おりえんとびいなす(21,884トン)」就航
- 1990.10 西日本汽船、下関~中国・青島間コンテナ輸送開始
- 1991.1 阪九フェリー北九州支店、新門司新ターミナルに移転。同2月九州本部に、神戸本社は神戸支店にそれぞれ改称
- 1991.6 雲仙・普賢岳災害支援船として現地島原新港に「ゆうとびあ」派遣
- 1994.4 新日本海フェリー小樽本店、勝納新ターミナルに移転
- 1995.1 阪神淡路大震災により阪九フェリー六甲アイランドターミナル被災、神戸航路一時休止となる。
グループ所有船4隻が臨時宿泊所、一時避難所として現地へ派遣
- 1996.6 新日本海フェリー敦賀支店、敦賀港鞆山新ターミナルに移転
新日本海フェリー敦賀~小樽間に30ノット高速大型フェリー「すずらん(17,345トン)」、「すいせん(17,329トン)」投入、ダイヤの大幅短縮によるサービス向上と配船の合理化を図る

- 1997.9 中国との合弁会社・オリエントフェリー(株)設立
- 1998.1 オリエントフェリー、下関~中国・青島間で「ゆうとびあ3(15,771トン)」運航開始
- 1998.4 日本クルーズ客船、「ばしふいっく びいなす(26,518トン)」就航
- 1998.8 関釜フェリー、リゾート型フェリー「はまゆう(16,187トン)」代替投入
- 1999.7 新日本海フェリー、敦賀~新潟~秋田~苫小牧航路開設
- 2001.3 日本クルーズ客船、第1回世界一周104日間クルーズ催行
- 2001.12 阪九フェリー泉大津支店、泉大津新ターミナル移転
- 2002.9 新日本海フェリー敦賀~小樽間高速船「すずらん」「すいせん」を敦賀~苫小牧間へシフト
- 2002.10 オリエントフェリー、「ゆうとびあ(26,906トン)」就航
- 2003.3 阪九フェリー、リゾート型フェリー「やまと(13,353トン)」新門司~泉大津間に就航。6月同航路に僚船「つくし(13,353トン)」就航

フォワード事業の強化

- 2003.4 関光汽船、利用運送事業開始
- 2004.7 新日本海フェリー、舞鶴~小樽間に30ノット高速大型フェリー「はまなす(16,810トン)」「あかしあ(16,810トン)」投入。ダイヤの大幅短縮によるサービス向上と配船の合理化を図る
- 2004.7 上海下関フェリー(株)設立
- 2005.6 オリエントフェリー、下関~中国・青島間に「ゆうとびあ2(26,933トン)」を増便。週3便体制となる
- 2005.7 上海下関フェリー、下関~中国・上海高陽港間に週1便の貨物輸送サービス開始
- 2005.7 マリネックス西日本(株)設立、利用運送事業開始
- 2006.9 上海下関フェリー、中国側寄港地を江蘇省太仓港に変更
- 2007.9 関光汽船、中国現地法人「青島関光国際物流有限公司」設立
- 2009.10 上海下関フェリー、下関~太仓間に「ゆうとびあ4(14,250トン)」を投入。週2便体制となる
- 2010.1 関光汽船、韓国現地法人「関光ロジスティクス韓国(株)」を設立

さらなる進化へ

- 2011.3 SHKライン、東日本大震災被災地支援をグループ連携により実施
- 2012.6 新日本海フェリー、敦賀~苫小牧間に「新・すずらん(17,382トン)」、7月「新・すいせん(17,382トン)」を代替投入
- 2014.1 マリネックスの中国現地法人「万利寧(南通)国際物流有限公司」設立
- 2014.7 エス・エッチ・ケイ調査広報センター、「(株)SHKライン」に社名変更
- 2014.8 上海下関フェリー、社名を「蘇州下関フェリー」変更
- 2015.1 阪九フェリー、新門司~神戸にリゾート型次世代フェリー「いずみ(15,897トン)」を、同4月僚船「ひびき(15,897トン)」を代替投入
- 2015.12 オリエントフェリー下関~中国・青島間、運航休止
- 2017.3 新日本海フェリー新潟~小樽間に、垂直船首型高速大型フェリー「らべんだあ(14,125トン)」を、同6月姉妹船「あざれあ(14,125トン)」を代替投入、大幅なダイヤ短縮によるサービスの向上を図る
- 2019.4 東京九州フェリー(株)設立

SHKライン